



【中島小学校】

＜全学年：みかん持ち寄り運動＞

本校は、中島で収穫されたみかんを福祉施設や児童施設に送ることで交流を図る取組をしており、毎年、中島小学校と中島中学校合同で行っています。

11月、みかん持ち寄り運動を行い、登校日の3日間で子どもたちが家からたくさんのみかんを持ってきてくれました。みかんを持ち寄ることができなかった子どもたちはメッセージを書きました。また、5・6年生は受け取った方々が中島のおいしいみかんを食べて笑顔が広がることを願いながら、みかんの箱詰めを行いました。

12月、みかん持ち寄り運動で集まったみかんを送った施設の方々から、お礼の手紙が届きました。それらを校内に掲示したところ、子どもたちが「みかんを送ってくれてありがとう」「お手紙をくれてうれしかった」などの言葉を見て、施設の方々に喜んでもらったことを実感していました。



＜第5・6学年：中島のみかん・海博士になろう＞

5・6年生は、総合的な学習の時間で、中島の特産品でもあるみかんを含めた柑橘について学習をしました。

4月から毎月1回の頻度で子どもたちが中島のみかん博士の農園を訪問したり、みかん博士に学校に来てもらったりしました。その中で、島の基幹産業であるみかん産業について学んだり、悪天候や害獣からみかんを守り育てることの大変さ等、生産者の苦勞に気付かされました。

5年生は、社会科で学んだ水産業と関連して、中島でサバの養殖に取り組んでいる方を訪問して、えさやりの体験をしました。船に乗って海に出かけ、いけすの中のサバに餌をあげました。養殖業を営む方からは、餌をやり過ぎると海が汚くなるため、サバの数に合わせた適量の餌をあげることの大切さを教えていただきました。子どもたちは、餌を食べる魚の様子を見て魚の食欲旺盛さに感動しながらも、養殖業を営む方が環境保全と豊かな水産資源の確保の両立に取り組んでいることを学びました。

